

平成16年度予算がまとまりました

総額27億2254万円 今年度も財政の引き締めを強化

3月8日に開催された第76回組合会において、
平成16年度予算が可決・承認されましたのでお知らせします

● 拠出金は保険料収入の 4割以上も占める

今年度の当健保組合の予算は、前年度比14.6万円増の総額27億2254万円となりました。

収入では、みなさんと事業主から納めていただく保険料を、前年度に比べて3380万円減の26億1708万円と見込みました。

支出では、みなさんとご家族の医療費などに健保組合が負担する保険給付費が前年度比6577万円減の13億2211万円、高齢者の医療費などに充てられる拠出金が前年度比3034万円増の1億2561万円となりました。このほか、みなさんの健康づくりのために、保健事業費として前年度比971万円増の1億1830万円を充てます。

以上のことから、今年度は赤字を見込むことなく、収入と支出のバランスのとれた予算を組むことができました。しかし、これまで当健保組合は厳しい財政運営を強いられてきており、積立金を取り崩すなどして対応してきたため、今年度は赤字が見込まれなかったからといって、安心できるほど財政に余裕があるわけではありません。

健保組合を苦しめている原因は拠出金です。今年度の拠出金は前年度より増え、

平成16年度収支予算のあらまし

..... 収 入

科 目	予算額
みなさんと事業主から納められる保険料	2,617,089千円
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	33,822千円
その他	71,638千円
合 計	2,722,549千円

..... 支 出

科 目	予算額
事務にかかる経費	50,728千円
病気やけがやお産をしたときに健保組合が 負担する保険給付費	1,322,115千円
高齢者の医療などに使われる拠出金	1,125,619千円
健康づくりに使われるお金	118,303千円
健保組合が互いに助け合うための拠出金	33,822千円
その他	6,962千円
いざというときのための予備費	65,000千円
合 計	2,722,549千円

拠出額をみても11億円以上の支出、保険料収入に対する割合では4割以上をも占めています。

拠出金は健保組合に加入していない高齢者のための医療費であり、拠出額は毎年大きく変わることが健保組合財政を不安定なものにしていること、また拠出金制度のしくみそのものが健保組合に大きな負担を求めるものとなっていることから、この拠出金制度が長く限り、健保組合のひつ迫した財政状況が改善されるこ

とは望めません。加えて、日本経済の景気回復の見通しもまだ不確定な現在では、保険料の増収を期待することもできない情勢です。

このようなことから当健保組合は、医療費抑制対策、事業の効率化の推進などを引き続き行い、安定した健保組合運営のため努力してまいります。みなさんも健康の保持・増進をはかり、医療費節減にご協力くださいますようお願いいたします。

被保険者 1 人当たりでみた収支予算

収入
合計 422,101 円

その他 11,107 円
健保組合が互いに助け合うお金 (調整保険料) 5,244 円

みなさんと事業主から納められる保険料
405,750 円

病気やけがやお産をしたときに
健保組合が負担する保険給付費
204,979 円

高齢者の医療などに使われる拠出金
174,515 円

事務にかかる経費
7,865 円

健康づくりに使われるお金 18,342 円
健保組合が互いに助け合うための拠出金 5,244 円
その他 1,078 円
いざというときのための予備費 10,078 円

支出
合計 422,101 円



**介護保険料率を
1000分の10.5に変更**

4 月分給与から適用

従来は介護保険料率を1000分の9.5と定めていましたが、4月分給与より介護保険料率を1000分の10.5に引き上げることにしました。負担割合は事業主・被保険者の折半となります。



**平成16年度
介護保険予算のあらまし**

..... 収 入

科 目	予算額
介護保険料	188,806千円
その他	9,622千円
合 計	198,428千円

..... 支 出

科 目	予算額
介護納付金	190,701千円
その他	7,727千円
合 計	198,428千円